



# 親子の味方

## 病児保育＆ファミリー・サポート・センター

予期せぬ病気や用事。そのような時、誰に子どもの面倒を見てもらうか、頭を悩ませたことはありませんか？今回は、そのような時に子育て世帯を助けてくれる「病児保育」、「ファミリー・サポート・センター」について特集します。

市子育て支援課 TEL 0994-31-1134



1 保育室には絵本やおもちゃなどがあり、回復期の子どもが遊べるようになっています。2 トイレは小さい子でも使用できるようになっています。3 お尻がかぶれている場合はトイレに併設されている浴槽で洗い流します。4 急性期の場合は子どもの体調に合わせて休ませます。5 感染症の場合は個室での対応になります。



保育士  
長谷 加代子さん



久保 和加さん

### 専門スタッフだからこそ安心して預けられる

急な発熱などによって保育園や小学校に預けられない時に、仕事を休むことが難しい場合もあるので、本当に助かっています。

病児保育では、お医者さんによる診察や病状に応じた薬の処方もしていただけなので、安心して子どもを預ける

ことができます。また、<sup>ぜんそく</sup>喘息の吸入のような医療処置も、専門のスタッフさんがいるので対応していただけます。

今年の4月からは利用料が無料になったことにより、さらに預けやすい施設になったと感じています。

「森のくまさん家」は、体調の悪いお子さんのための保育室です。保育士や看護師、医師などの専門スタッフが、体調が優れないお子さんの保育と看護を行っています。

来院したらまずクリニックで問診・診察を行い、それから保育室に入室します。薬が処方された場合は、スタッフが薬局で薬を受け取り、お子さんに飲ま

れます。お迎えの際には、スタッフが同行して再度診察を行い、帰宅となります。

病児保育は、指導案に基づいてしつけや教育を行う保育園や小学校とは異なり、子どもの病状や個性に合わせた過ごし方をしています。

例えば、急性期では熱が出たり、症状が急に現れたりするので、できるだけお子さんを休ませるように看護を行っていきます。回復期になるとブロックで遊んだり、お絵描きをしたりするなど、病状に応じた過ごし方を行うようにしています。

初めて利用する方にとっては、普段とは異なる環境での保育ですし、体調も優れない状態ですので、不安に感じるかもしれません。だからこそ、保護者の方が安心して預けられて、お子さんもできるだけ楽しんでもらえる「居心地のいいところ」になるよう心掛けています。「また来たい」と子どもに言われた時は、楽しい場所と思つてもらえたと嬉しく感じています。

病気の時だからこそ、少しでも安心して楽しく過ごせるよう、これからも「居心地のいいところ」を提供していきます。



・森のくまさん家  
・住所 西原2丁目35番3号  
・利用時間  
・平日：8:00~17:50 土曜：8:00~11:50  
※日曜日・祝日・クリニック休診日は休み

病児保育とは、保育所等や小学校に通っている子どもが、病気についでいるため集団保育ができる状態であり、保護者が勤務の都合や傷病、冠婚葬祭等の都合により、家庭での保育が困難な場合に利用することができます。

本市では、まつだこどもクリニック内にある「森のくまさん家」で利用することができます。対象は生後6か月から小学6年生までの子どもで、利用料は無料です。利用には事前登録が必要です。詳しくは市ホームページをご確認ください。

**病児保育ってなに？**